

静岡県  
移住・定住  
ガイドブック

「星空のきれいなまちで、農業をしています」  
あなたの新しい生活も、きっとここで見つかります。

# 静岡で見つけた。

仕事も、暮らしも自分らしく。  
探していたのは、“日々、成長を実感できる場所”

撮影地：静岡県菊川市

静岡県





## 静岡で始める 新しい暮らし

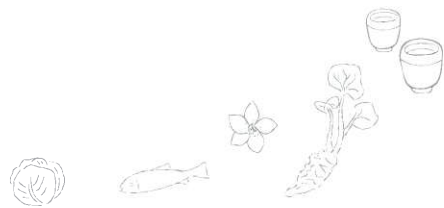
首都圏にも中京圏にも近い静岡県  
雄大な富士山、青い空、まぶしい海  
豊かな自然の中で心身ともにリフレッシュできる環境が  
すぐそばにあります。

のんびり田舎暮らしはもちろん、  
地方都市での便利な生活 趣味を満喫する生活 など  
日々の暮らしや家族と過ごす休日が、もっと素敵になるはず。

あなたが思い描く暮らしを静岡県で探してみませんか。

## CONTENTS

- 静岡県でのさまざまな暮らし方
  - 海も山も近い快適な地方都市生活 03
  - 仕事そのままに、憧れの生活を実現  
～首都圏通勤～ 04
  - 自然と向き合い働く 05  
～農業・林業・漁業～
  - 暮らしの一部としてアウトドアを楽しむ 07
  - 富士山とともにある生活 09  
気軽に温泉三昧
  - 芸術家・クリエイター、カフェ 10
- お役立ち情報 11
- 首都圏にも中京圏にも近い！ 13  
日本の真ん中 静岡県



ライフスタイル

## 地方都市での生活



- 地方都市での1週間の過ごし方(例)
- アフター5の過ごし方
  - 月 シムで汗を流す
  - 火 テハ地下グルメを楽しむ
  - 水 英会話教室へ
  - 木 たまには家のんびり
  - 金 同僚と飲み会
  - ウィークエンドの過ごし方
  - 土 ハイキング&温泉
  - 日 ショッピング&カフェランチ

### 海も山も近い快適な地方都市生活

県内を東西に横断する東海道本線の沿線には、ほどよく発展した地方都市が点在しています。学校や病院はもちろんのこと、日々の買い物にも困らない利便性があると同時に、車で30分~1時間走れば海や山にも行けるので、休日には気軽にレジャーを楽しむこともできます。

#### ■ 先輩移住者インタビュー



静岡市在住  
神山武雄さん

1976年 神奈川県生まれ。食品会社に入社し静岡市内に配属される。転職を機に埼玉県に転居するも、静岡の魅力が忘れられず静岡市に再び移住。休日は、仲間と趣味のランニングやアウトドアスポーツを楽しんでいる。

「自然」と「都会」のバランスがいい

#### ショッピングもアフター5も充実

静岡市は大都会ほどごちゃごちゃしていない、ほどよい地方都市です。

駅前には大型デパートも何店舗もあるので、生活に必要なものはなんでも揃い、ショッピングを楽しんでいます。また、おしゃれな居酒屋や黒はんぺんで有名な静岡おでんの「青葉横丁」があって、ひとりでもふらっと飲みに行っても、すぐに打ち解ける雰囲気があるのでよく通っています。先日、仕事帰りに立ち寄ったら、バックパッカー風の旅人がいて、おでんを囲みながら話が盛り上がりました。

#### 休日はアウトドアを満喫

地方都市のいいところは、「自然」と「都会」がバランスよく共存していること。

静岡市の自然に恵まれた環境で過ごすうちに「ここで子育てをしたい」と思うようになりました。子どもを川で泳がせたり、友だち家族と一緒に山に登ったり、子育てするのに素晴らしい環境が整っています。

家から一歩出れば、海や富士山を眺められる環境は、ランニングをするのに最高です。空気が澄んでいるので、どこを走っても気持ちがいいんですね。

ランニングを通じてできた仲間は大切な存在です。休日にランイベントを開催していて、元旦には「初日の出ラン」を開催したり、社会の動きに合わせてチャリティーマラソンなどのイベントを企画しています。

自然に囲まれた暮らしができ、アウトドアスポーツが好きな私にとっては最高の環境です。





## 首都圏通勤

### 仕事はそのままに、憧れの生活を実現

新幹線や高速道路など、交通アクセスが良好な静岡県だから、首都圏や中京圏へ通勤・通学することができます。仕事はそのままに、憧れの生活環境を手に入れる。通勤時間が、満員電車で揺られる時間から、読書やメールチェックなど、自由に使える時間に変わります。

● 首都圏通勤者 A さんの1日 (例)

- 7:20 自宅を出発
- 7:48 新幹線に乗車 (三島駅発)
- 8:39 品川駅着
- 8:50 出社
- }
- 19:00 退社
- 19:34 新幹線に乗車
- 20:22 三島駅着
- 20:45 帰宅・家夕食
- ※三島行の新幹線 (最終) は東京駅 22:07 発

#### ■ 先輩移住者インタビュー



裾野市在住  
林康之さん

1967年裾野市生まれ。東京・品川にある大手電機メーカーに勤務。東京で4年勤務したのち、95年に裾野市にUターン。その後、アメリカに4年ほど勤務し、裾野市に戻る。現在は三島駅から品川駅まで新幹線通勤をしている。

### 毎日、富士山を見ながら通勤

#### 都心のオフィスまで1時間半

平日は6時に起床し、7時50分の三島駅発の新幹線に乗ります。それから50分ほど新幹線に揺られて、8時50分には会社に到着。通勤時間は、1時間半です。夜は19～20時頃まで働いて、帰りにスポーツジムで一汗流したり、同僚と食事をしたり。終電は22時50分なので、東京でのアフター5も楽しめます。そして、新幹線で三島駅に降りると、静岡の空気の質感にホッとします。

#### 通勤時間がリラックスタイムに

朝の通勤時間は、いまや新聞や雑誌を読んだりする貴重なリラックスタイムです。昔、横浜に住んでいたときは、満員電車で1時間近く乗っていましたが、新聞なんてとても広げられませんでしたね。毎日、富士

山を見て通勤できるのも気持ちがいいです。

#### 土を踏む幸せ

東京から友人を呼んで、一緒にゴルフをして、その後に沼津港でお寿司を食べたりもします。あまりの新鮮さと安さに友人から驚かれると同時に、羨ましがられたりも。家庭菜園でつくった野菜を庭から採ってきて、自分で料理もしますよ。とくに静岡県はお茶が有名ですね。わが家でもお茶を栽培しているので、採れたてのお茶っ葉を天ぷらにします。お茶は採れたてじゃないと食べられないので、これも住んでいる人の特権です。

東京に住んでいると、土を踏むことはまずありませんが、「土を踏めること」にささやかな幸せを感じますね。

